

創立40周年記念誌

ほんもく

みなみ



横浜市立本牧南小学校

# 『ほんもくみなみ』 もくじ

- 1. はじめに ..... 2
- 2. 学校のれきし (学校の名前・校章・校歌について) ..... 3
- 3. 本牧南小学校のあゆみ (学校40年の歴史) ..... 4・5
- 4. 私たちのまちの鳥かん図 (空から見た図) ..... 6・7

## 『大好き！本牧南小学校』

- 5. 本牧南小学校 校舎案内図 (特別教室などの紹介) ..... 8・9
- 6. 学校にある植物 ..... 10・11
- 7. 学校では、いろいろな人がはたらいています！ ..... 12

## 『大好き！ほんもくのまち』

- 8. 大好き！本牧南のまち!! ..... 13
- 9. 学校の近くには、こんな公園があります ..... 14・15・16
- 10. 本牧にはお店がいっぱい！ ..... 17・18
- 11. みんなが使える、みんなで使う公共施設 ..... 19・20
- 12. わたしたちの生活を支えている場所 ..... 21・22
- 13. 今も昔も海のまち ..... 23・24
- 14. ここには昔、海があり (本牧の歴史) ..... 25・26
- 15. あとがき ..... 27



2010

40周年キャラクター「南丸 40th」



# はじめに

わたしのがっこうは、しょうわねん（1971年）がつついたちまがどしょうがっこうほんもくもとまちぶんこうとしてひらかれ、おなとしがつついたちまがどしょうがっこうどくりつほんもくみなみしょうがっこうた。ことしねんむがそうりつねんきねんこんねんどしゅうねん「みなまる南丸40th」をはじめ、しおかぜフェスティバル・ふれあいまつり、しおかぜうんどうかいしおかぜおんがくかいさくひんてんさまざまばこちからほごしゅちいきの方の力と共に披露させていただきました。

いまここにきねんしはっこうともまなともがんばるともたのたのなかあつほんもくみなみこちいきれきし思いを馳せながら、これからのがくしゅうかつようほんしほなしきかせてくださった方々、資料をていきょうていきょうかたがたこころかんしや提供してくださった方々に心より感謝いたします。

「あおうみしろかもめひかりくさもだいちおいまつみどりはいけいきぼうしぜんせいぎむねあすむたびだこうがほんもくみなみこちから40年間ねんかんかひきつがれています。そしてこのちからみなさま健康、ごはってんとともに、これからもひきつがれていくことと思います。



そうりつ しゅうねんきねんじぎょうじつこういんかい  
創立 40 周年記念事業実行委員会

いいんちよう いわむら かずお  
委員長 岩村 和夫  
こうちょう のくち ようこ  
校長 野口 容子



# 学校のれきし ~学校の名前・校章・校歌について~

## ○学校の名前はこう決まりました。

1971年、横浜市立閻門小学校の人数が多くなり、分校ができることになりました。分校は、地域の人々の願いで独立することが決まりました。学校の名前を決めるために、学校、町内会、PTAの代表などの話し合いが何度も行われました。本牧元町小学校、錦小学校、三溪小学校などの候補がありました。が、「本牧」の名前を残したい地域の人の強い思いと、本牧の南側という位置から、「横浜市立本牧南小学校」という名前に決まりました。

## ○学校の校章（シンボルマーク）はこう決まりました。

1972年（創立元年）、本牧南小学校となった1年目の冬、PTAが発足し、地域ぐるみで学校の運営が行われ始めました。運動会や遠足などもこの年行われました。学校外の大会などに出るにあたり、校章が必要だということで、校章を学校の児童や一般の人から募集しました。地域の方々200名ほどから応募があり、選考の結果、木村宗吉氏の考案した校章に決まりました。

### 【校章の意味】

外側の八角形…地元に残る八聖殿郷土資料館の2階に安置されている8人の聖人を表している。  
6つの波型……本牧南小学校のある場所が、かつて海だった名残として八王子海岸の波と、仲睦まじく（なかもつまじく=6つまじく）子どもたちの学びの庭となるようにとの願いが込められている。



## ○学校の校歌はこう決まりました。

1973年、開校2年目の冬、音楽室や理科室、正門などの完成とともに、第1回目の卒業証書授与式が行われました。閻門小学校から分校に移ってきたのは、1年生から5年生までだったので、最初の年は卒業式がなく、この年が最初の卒業証書授与式でした。

それに伴い、学校関係者全ての念願であった校歌が制定されました。初代校長、安岡校長先生とPTA会長の高野氏は、当時大変有名な作詞家であった星野哲郎氏に校歌の作詞をお願いしました。

高野氏は当時の様子をこう話しています。「星野氏は、歌詞を書くにあたって何度もこの地を訪れ、小学校の屋上に上がって周りの景色を見たり、土地の人々の話を聞いたりして回られました。また、作曲をされた楠木氏は、他の学校の校歌にはないようなクラシックと歌謡曲の中間の感じの八分の六拍子の曲を作りました。校歌の発表会当日は、雨にもかかわらず、PTAなど関係者も多数参加され、県警ブラスバンドが校庭をパレードし、校歌の誕生を祝いました。」

本牧南小学校に残る最初の校歌のレコードは、当時の高学年の子どもたちが六本木のレコーディングスタジオで吹き込んだものです。幻の校歌と呼ばれる、曲調の違ったもう1曲も、当時作られました。

**本牧南小学校校歌**

作詞 星野哲郎  
作曲 楠木 創

一 ここには 昔海があり  
白い鳴か どんでいた  
いまその海は わたしらの  
心に青くよみがえり  
希望をのせた 船がでる  
本牧南小学校

二 自然のままに 育てよと  
正しいものを 選べよと  
やさしい父や 母たちの  
ねがいをこめた この庭に  
ひかりはあふれ 草萌える  
本牧南小学校

三 本牧鼻の 丘の上に  
そびえてのこる 老松の  
みどりの影の そのように  
かわらぬ勢い つみかさね  
明日への旅に そなえよう  
本牧南小学校

\* 記念誌作成中の平成22年11月15日、校歌の作詞者、星野哲郎氏のご逝去されました。懐んでご冥福をお祈りいたします。

ほんもくみなみしょうがっこう  
**本牧南小学校のあゆみ**

**昭和46年**

- 4・1 横浜市立間門小学校本牧元町分校として開設。(児童数は1～5年生まで、499人)
- 5・1 水道が使えるようになった。
- 5・17 初めての給食。(それまではお弁当)
- 7・2 学校名が『本牧南小学校』となる。
- 9・1 独立し、横浜市立本牧南小学校となる。



**昭和47年**

- 2・16 校章が決定する。
- 6・19 第1回開校記念日。(以後、この日を学校誕生日とする)
- 11・28 交通整理員さんが着任。

**昭和48年**

- 3・12 校歌が決定する。
- 3・22 第1回の卒業証書授与式が行われる。

**昭和50年**

- 9・6 校旗が決定する。



**昭和51年**

- 6・18 創立5周年を祝うスポーツ大会を行う。

**昭和53年**

- 12・22 校庭に先生方手作り遊具ができる。

～卒業生の話～  
 今の鉄棒の辺りにあったひょうたん山では、登ったり、すべったり、山の奥で隠れて遊んだりしました。

**昭和56年(創立10周年)**

- 3・31 竜神池ができる。
- 6・17 創立10周年記念式典を行う。

～卒業生の話～  
 学校前の公園まで水路が続いていて、埋め立てたばかりの時は、とうもろこしなどを植えていました。



※ひょうたん山の様子

**昭和59年**

- 11・17 第1回本牧祭を行う。



※本牧祭の様子

～卒業生の話～  
 当時は、今の倍以上の子どもがいて、とてもにぎやかでした。運動会はとても盛り上がり、毎年鼓笛隊に入って、放課後や夏休みの練習をがんばっていました。

**昭和61年**

- 3・19 正門の横の錨が完成する。

**平成元年**

- 6・5 横浜博覧会を全校で見学。



～卒業生の話～  
 入学した時から何年間かは、南小オリジナルの校章の入った通学カバンで通っていました。全員、黄色の帽子をかぶっていました。遠足は森林公園に行き、ペア学年で楽しみました。クラス替えは、2年に1回でした。

**平成3年(創立20周年)**

- 6・15 創立20周年記念式典を行う。



**平成7年**

- 3・31 「中区スクールパーク事業」として、裏庭に野外炉が4基、学校内に101本の植樹がされる。

**平成8年**

- 11月 屋上に「本牧南」の文字が書かれる。

## 平成11年

- 9月 学校前の道路に信号機が設置される。
- 10・29 「総合的な学習の時間」でのつながりで佐賀パルーンフェスティバルを開催。
- 2・19 ウィンターコンサート  
(トランペット鼓笛隊による演奏会)



※盛り上がったトランペット鼓笛隊の演奏

## 平成12年(創立30周年)

- 4月 よむよむタイム、チャレンジタイム開始。
- 6月 創立30周年記念式典を行う。
- 9月 ビオトープ(トンボ池)の工事開始。  
校庭東側(産業道路側)に防音壁を設置。



## 平成13年

- 7~8月 校舎耐震補強工事を行う。(職員室一部移転)
- 11・15 市球技大会に参加する。(サッカー)

## 平成15年

- 2・25 第1回「しおかぜ懇話会」開催。
- 3・17 中区民ユニセフ募金贈呈式。  
アグネス・チャンさんが来校。



- 7~8月 環境整備工事。職員室、校長室、音楽室、技術員室を改築。  
校内公衆電話が取り外される。
- 10・4 運動会の名前が「しおかぜ運動会」になる。

## 平成16年

- 4・1 学校を2学期制とする。  
学校の全教室にエアコンが設置される。

## 平成18年

- 2・3 南本牧埠頭コンテナ船命名式に出席。
- 4・25 初めての引き取り下校訓練。
- 5・12 「わくわくモーモースクール」を行う。
- 7・13 横浜にぎわい座寄席演芸鑑賞。
- 8月 図書室と2、3年生の教室を移動。  
ネットデイ工事。(全教室にLAN配備)
- 9月 放課後キッズクラブが始まる。
- 11・25 市球技大会参加(バスケット)

## 平成19年

- 3月 学校田の改修工事。
- 11月 市球技大会参加(サッカー)

## 平成21年

- 5月~ 横浜開国博「Y150」教育プログラム  
(3年生以上が参加)
- 6月 学校裏駐車場の門が新しくなる。

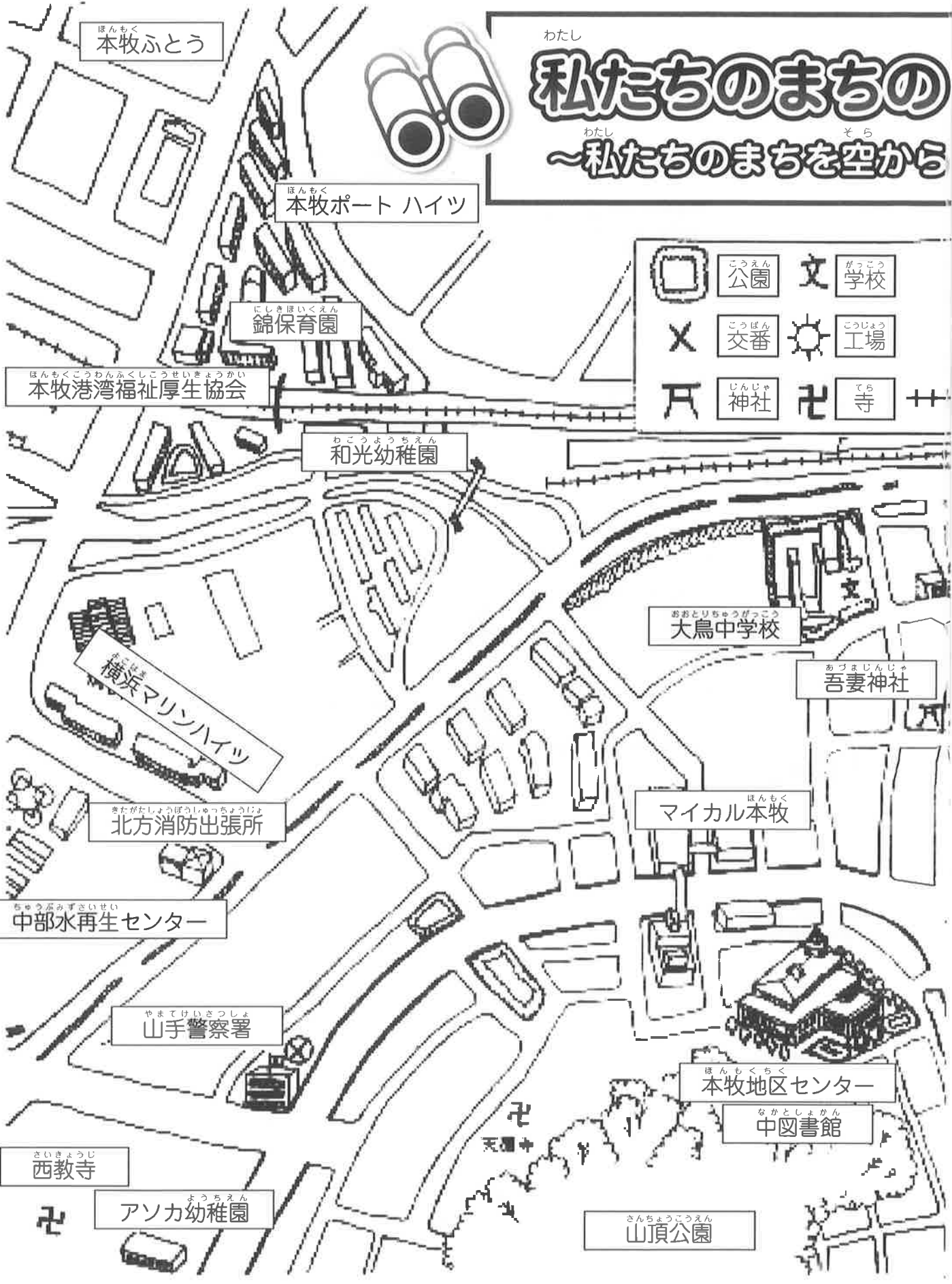
## 平成22年(創立40周年)

- 7・10 しおかぜフェスティバルを行う。
- 7月 夏季チャレンジタイムを開始。
- 10・16 創立40周年記念しおかぜ運動会を行う。
- 12・4 創立40周年記念しおかぜ音楽会を行う。



## 平成23年

- 2・5 創立40周年記念式典を行う。



ほんもく  
本牧ふとう

わたし  
わたしのまちの  
わたし  
わたしのまちを空から



ほんもく  
本牧ポート ハイッ

にしきほいくえん  
錦保育園

ほんもくこうわんふくしこうせいきょうかい  
本牧港湾福祉厚生協会

- 公園 文 学校
- X 交番 太陽 工場
- 尺 神社 卍 寺 ++

わごうようちえん  
和光幼稚園

おおとりちゅうがっこう  
大鳥中学校

よこはま  
横浜マリンハイッ

あづまじんじゅ  
吾妻神社

きたがたしょうぼうしやうじょうじょ  
北方消防出張所

ほんもく  
マイカル本牧

ちゅうぶみずさいせい  
中部水再生センター

やまてけいさつしよ  
山手警察署

ほんもくちく  
本牧地区センター

さいきょうじ  
西教寺

なかとしょかん  
中図書館

ようちえん  
アソカ幼稚園

さんちようこうえん  
山頂公園

ちょう

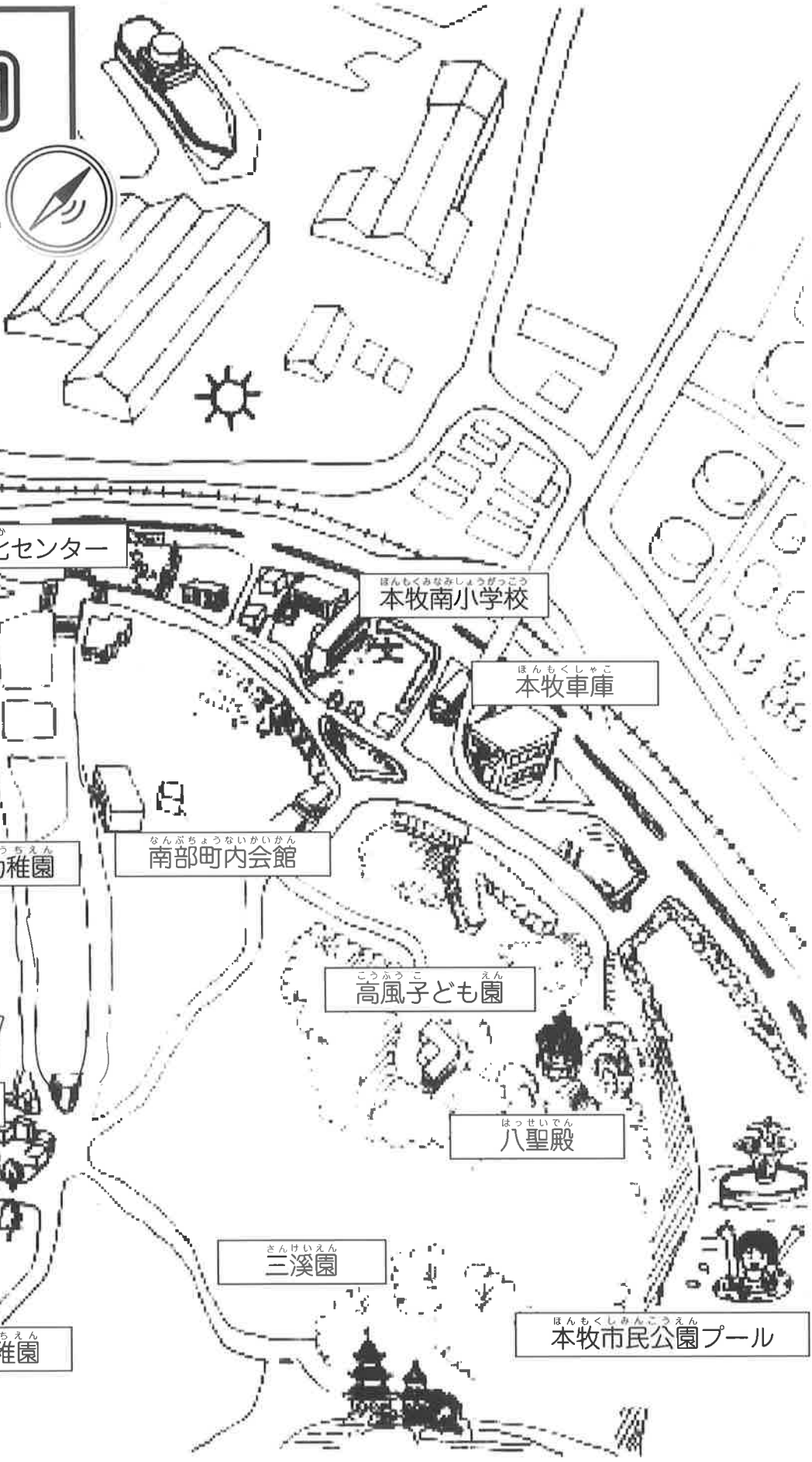
ず

# 鳥かん図

見てみよう~



- 警察署
- 郵便局
- 貨物線路



ほんもくねがしちくふくしぶんか  
本牧根岸地区福祉文化センター

ほんもくみなみしょうがっこう  
本牧南小学校

ほんもくしやこ  
本牧車庫

せんぞうじ  
千蔵寺

たもんいん・ろんびにようちえん  
多間院・ルンビニ幼稚園

なんぶちやうないかいかん  
南部町内会館

こうふうこ  
高風子ども園

ほんもくさん たにこうばん  
本牧三の谷交番

はっせいでん  
八聖殿

さんけいえん  
三溪園

めぐみようちえん  
めぐみ幼稚園

ほんもくしやんこうえん  
本牧市民公園プール



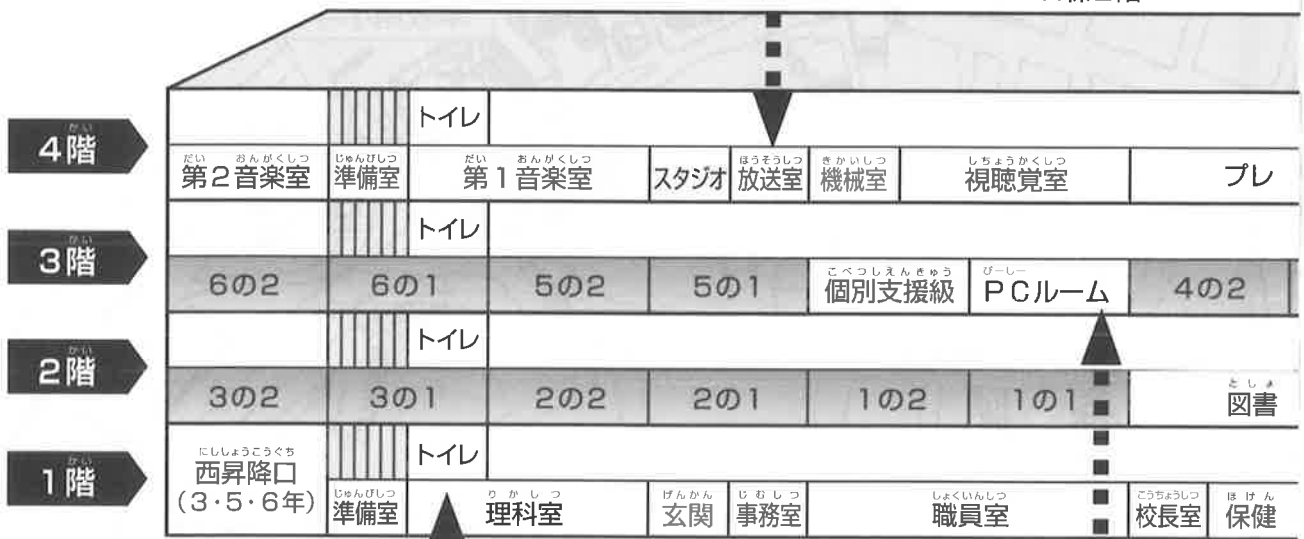
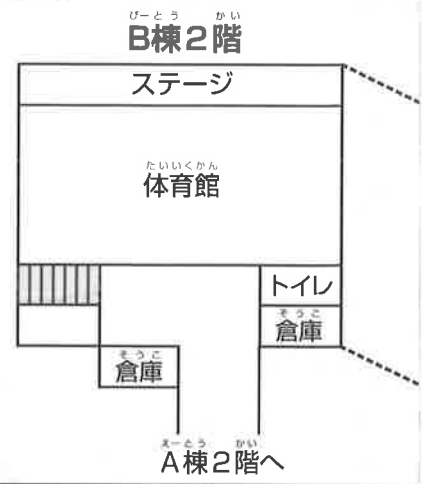
ほんもくみなみしょうがっこう こうしゃあんないず わたし がっこう  
**本牧南小学校 校舎案内図** ~これが私たちの学校です!!~

こうしゃ かん  
**校舎に関するアンケート(2010年 児童に実施)**

質問 あなたは、学校にある施設について、どこが一番好きですか?

- 1位 プール 2位 校庭 3位 図書室 4位 体育館 5位 プレイルーム

たのしいおひるのほうそうや、あさのほうそうはここで流しています。いろいろな機械があって、とても楽しいところ。5年生になったら、ぜひ放送委員会に入って、全校のみんなに楽しい放送を届けましょう!!



3年生以上が理科の勉強で使う理科室。いろいろな実験に使う道具があります。どんな実験に使うのかな? たくさんメダカが飼育されています。かわいい子メダカもいっぱい。  
 理科準備室は、子どもだけで入っちゃダメだよ。とびらを開けるとそこには...??



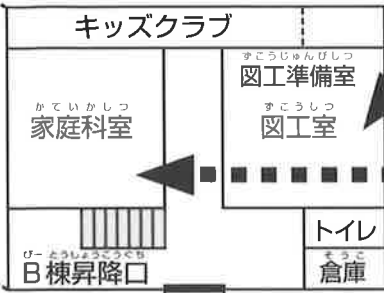
クラスの全員が使えるほどたくさんパソコンがそろったパソコンルーム。調べ学習で大かつやくですね。パソコンを使って、文章をまとめたり、写真を印刷したりすることもできます。最初はむずかしいかもしれないけれど、パソコンの使い方をたくさん勉強して、パソコンマスターになろう!!



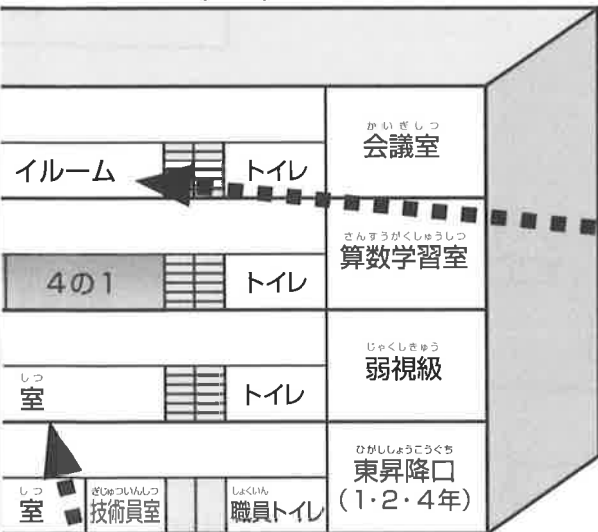
楽しい<sup>たの</sup>図工<sup>ずこう</sup>はこの部屋<sup>へや</sup>で! 絵<sup>え</sup>を描<sup>か</sup>いたり、粘土<sup>おんど</sup>や木<sup>き</sup>で作品<sup>さくひん</sup>を作<sup>つく</sup>ったりしましょう。  
 のこぎり<sup>のこぎり</sup>、金づち<sup>かな</sup>、ローラー<sup>ローラー</sup>、いろいろな道具<sup>どうぐ</sup>があります。先生の言<sup>い</sup>うことをよく聞<sup>き</sup>いて、安全<sup>あんぜん</sup>に、楽しい<sup>たの</sup>図工<sup>ずこう</sup>の勉強<sup>べんきょう</sup>をしましょう!!



B棟1階



5・6年生<sup>ねんせい</sup>になったら家庭科<sup>かてい</sup>の勉強<sup>べんきょう</sup>で使う家庭科<sup>かてい</sup>教室<sup>かしょう</sup>。生活科<sup>せいかつ</sup>でも、自分<sup>じぶん</sup>たちで作<sup>つく</sup>った野菜<sup>やさい</sup>を料理<sup>りょうり</sup>することもありますね。鍋<sup>なべ</sup>やフライパン<sup>フライパン</sup>、お皿<sup>おさら</sup>などがそろっています。調理<sup>ちょうり</sup>だけではなく、洗濯<sup>せんたく</sup>をしたり、ミシン<sup>ミシン</sup>で布<sup>ぬの</sup>の作品<sup>さくひん</sup>を作<sup>つく</sup>ったり、楽しい<sup>たの</sup>ことがたくさんできます。  
 家庭科<sup>かてい</sup>教室<sup>かしょう</sup>にはルールがたくさんあるから、きちんと守<sup>まも</sup>って使<sup>つか</sup>いましょう!!



1・2年生<sup>ねんせい</sup>の生活科<sup>せいかつ</sup>から、外国語<sup>がいこくご</sup>活動<sup>かっどう</sup>までいろいろなこと<sup>こと</sup>に使<sup>つか</sup>えるプレイルーム<sup>プレイルーム</sup>。たくさんの遊<sup>あそ</sup>び道具<sup>どうぐ</sup>があります。学年<sup>がくねん</sup>のみんなが集<sup>あつ</sup>まって勉強<sup>べんきょう</sup>したり、運動<sup>うんどう</sup>したりするのにとってもいい場所<sup>ばしょ</sup>ですね。



「読書<sup>どくしょ</sup>が大好き<sup>だいすき</sup>! 本牧南<sup>ほんもくみなみ</sup>っ子<sup>こ</sup>」が合言<sup>あいことば</sup>葉<sup>は</sup>! たくさん<sup>ほん</sup>の本<sup>ほん</sup>が、分類<sup>ぶんるい</sup>して置<sup>お</sup>いてあるから、読<sup>よ</sup>みたい本<sup>ほん</sup>、好<sup>す</sup>きな本<sup>ほん</sup>を選<sup>えら</sup>ぶのも分<sup>わ</sup>かりやすいです。図書<sup>としよ</sup>委員会<sup>いんかい</sup>の人<sup>ひと</sup>たちや、よむよむ先生<sup>せんせい</sup>たちがいつもきれいにそろえてくれているから、みんなが気持<sup>きもち</sup>ちよく読<sup>どく</sup>書<sup>しょ</sup>できます。みんなも、本<sup>ほん</sup>を読<sup>よ</sup>んだらしっかりと元<sup>もと</sup>の位<sup>い</sup>置<sup>かえ</sup>に返<sup>かえ</sup>すように心<sup>こころ</sup>がけて、きれいで、すてきな図書<sup>としよ</sup>室<sup>しつ</sup>を作<sup>つく</sup>っていきましょう!!



がっこう しょくぶつ  
**学校にある植物**

実がなる木。きれいな花が咲く木。  
 みなさんは、何本の木を知っていますか?



キンモクセイ



サクラ



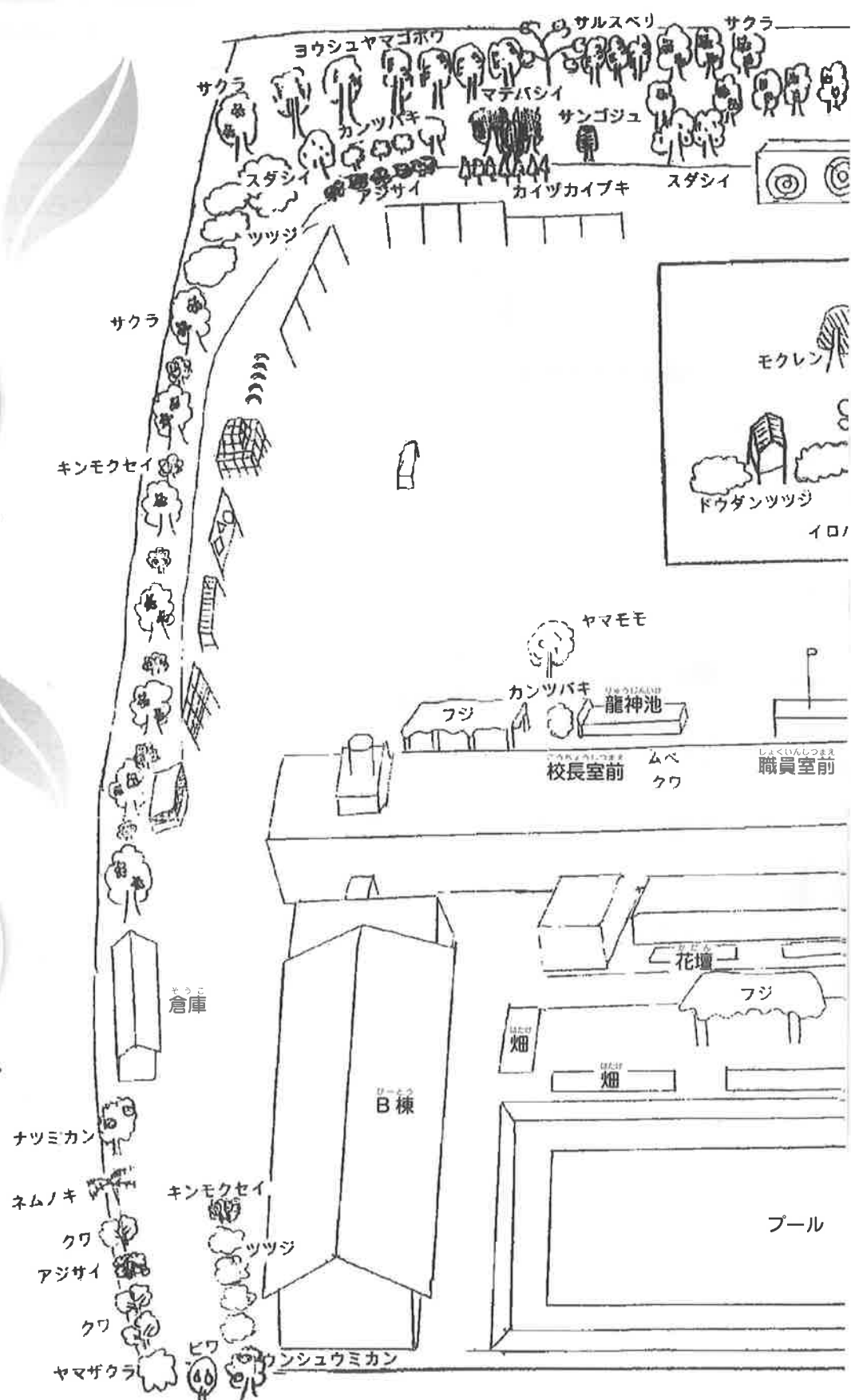
クワ

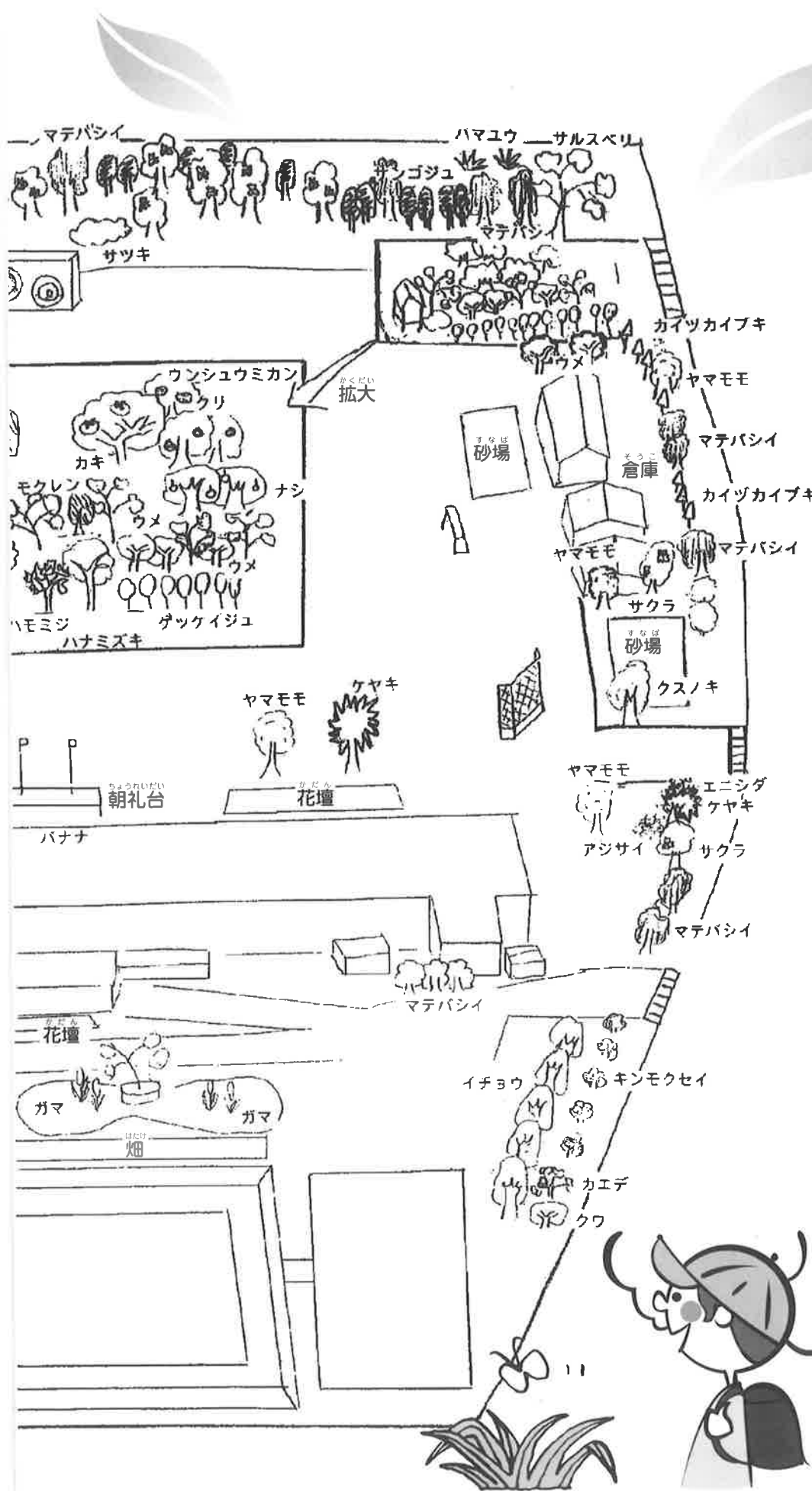


ピワ



ウンシュウミカン

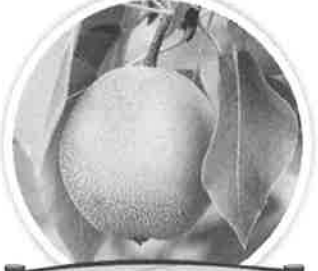




ウメ



カキ



ナシ



マテバシイ



バナナ

## 学校では、いろいろな人がはたらいています!

みなさんの身近にいるのは、先生たちですね。でも、学校には先生以外にもみなさんのために、学校のために、毎日(まいにち)はたらいてくださっている人(ひと)たちがいます。もうみなさん知っていますよね。しっかりあいさつをしたり、お手伝い(てつだ)をしたりして、たくさん関わり(かんわり)をもち、感謝(かんしゃ)の気持ち(きもち)をもって学校生活(がっこうせいかつ)を送りましょう。

### 保健の先生



保健室(ほけんしつ)は、主に健康診断(けんこうしんだん)のときや、けが(けが)をしたり具合(ぐあい)が悪(わる)くなったりしたときに利用(りよう)することが多い(おほ)と思います。でも、それだけではありません。みなさんが今(いま)よりもっと健康(けんこう)で楽しい生活(せいかつ)が送(おく)れるように、一緒(いっしょ)に考え(かんが)たり学(まな)んだりする部屋(へや)です。心(こころ)のけが(けが)の手当(てあて)もしますよ。みなさんがつらいとき、悲(かな)しいときにも、その心(こころ)に寄り添(よ)うことができる(か)ような保健(ほけん)の先生(せんせい)でいたいと、いつも思(おも)っています。

### 給食の先生



みなさんの体(からだ)に必要な(ひつよう)栄養(えいよう)がとれるように、献立(こんだて)を考え(かんが)ます。また、クラスでの様子(ようす)を知る(し)るために、一緒(いっしょ)に給食(きゅうしょく)を食(た)べることもあります。給食(きゅうしょく)を食(た)べたあと(あと)、紙芝居(かみしばい)やプリント(プリント)を見(み)てもらい(えいよう)栄養(えいよう)の話(はなし)をしています。いろいろな授業(じゅぎょう)を、担任(たんにん)の先生(せんせい)と一緒(いっしょ)に行(い)くこともあります。給食(きゅうしょく)を通(とお)して、食(た)べることが大(だい)好き(す)きな人(ひと)にみなさん(みなさん)が育(そだ)ってくれたら(たら)と思(おも)います。

### 技術員さん



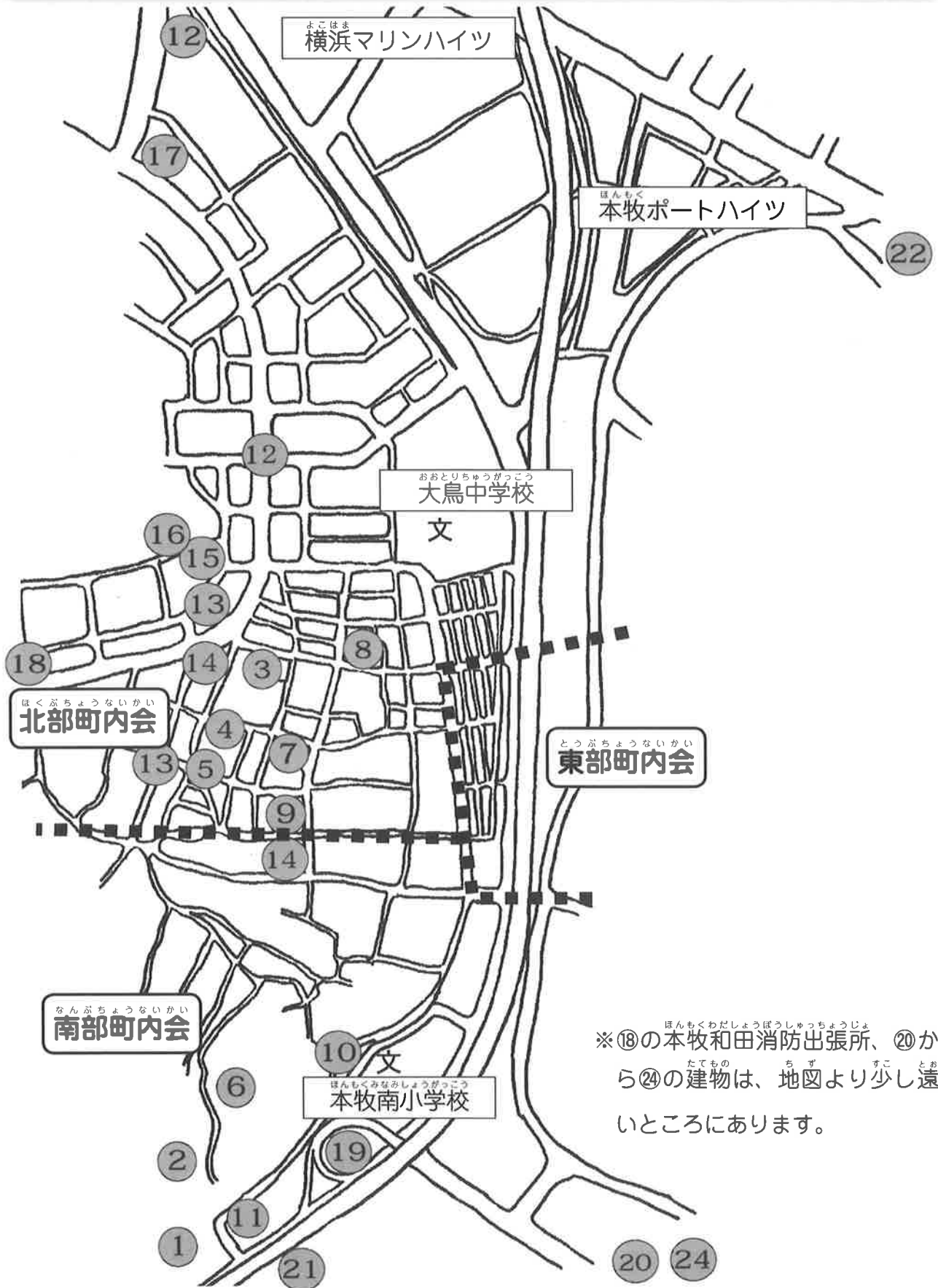
私たちは、学校(がっこう)の中(なか)や校庭(こうてい)、トイレ(トイレ)の掃除(そうじ)をしたり、電(でん)気(き)のつかけ(つけか)えをしたりして、みなさん(みなさん)が気持(きもち)よく学校生活(がっこうせいかつ)を送(おく)ることができる(か)ようにしています。ごみ(ごみ)の分別(ぶんべつ)をして、どれ(どれ)くらい(くらい)のごみ(ごみ)が出(で)ているのか(のか)をはか(はか)ったりもしています。そして、学校(がっこう)の周(まわ)りの草取(くさとり)りや、花(はな)だん(だん)の手入(ていれ)をして、いつもきれいな学校(がっこう)になる(なる)ようにしています。

### 事務の先生



私の仕事(わたくし しごと)は、みんな(みんな)がよく取(と)りに来(く)る画用紙(がようし)やテープ(テープ)、チョーク(チョーク)などの文(ぶん)具(ぐ)を買(か)ったり、学校(がっこう)の中(なか)のこわ(こわ)れているところ(ところ)の修理(しゅうり)の手配(てはい)などをし(し)たりしています。また、学校(がっこう)がどれ(どれ)くら(くら)のお金(かね)を使(つか)えるか(か)という予算(よさん)の計(けい)画(かく)をた(た)てて、修理(しゅうり)をし(し)たり、必要(ひつよう)な物(もの)を買(か)ったりしています。そのほ(ほ)か(か)にも、先生(せんせい)たち(たち)のい(い)ろ(ろ)い(い)ろ(ろ)な書(しょ)類(るい)を作(つく)って提(てい)出(しゅつ)して(して)いま(いま)す。

だいす ほんもくみなみ  
**大好き! 本牧南のまち!!**



※⑱の本牧和田消防出張所、⑳か  
ら㉔の建物は、地図より少し遠  
いところにあります。

## 学校の近くには、こんな公園があります

外で遊べるところといたら、「公園」をイメージする人が多いと思います。学校の近くにも、みんなで使うことができる公園がたくさんあります。「公園」といっても、場所によって、遊ぶものや使っている人が少し違うようです。どこにどんな公園があるか、知っていますか。ぜひ色々な公園に行き、その公園ならではの良さを探してみてくださいね。

### ① 本牧市民公園

昔は海だったのですが、埋立をしたことにより、それまであった海で働いていた人や港で働く人のために、テニスコートや運動広場、池などを作りました。芝生広場の後ろ側にある崖の下の池の部分は、昔の海岸だったところです。昔は海だったことを記念する記念碑も本牧漁業協同組合によって建てられています。とても広い公園で、たくさんの施設があります。いろいろな人に分かりやすいように入り口には地図があります。テニスコートや広い芝生でのグラウンドゴルフなど、大人にも親しまれています。他にも「トンボ池」と呼ばれる池もあり、本牧に多くいたトンボを呼び戻すために、以前普通の池だったところに自然の材料で環境作りがしてあります。池には、アヒル、カモ、鯉、フナ、ミドリガメ、ザリガニなどもいます。蒸気機関車「D51」もあり、機関室に入り、中を触ることもできます。昭和45年に国鉄から横浜市が借りて展示してあります。転車台跡もあります。公園の東側には本牧市民プールもあり、夏にはとてもにぎわいます。



### ② 八聖殿

聖徳太子、弘法大師、親鸞、日蓮、釈迦、孔子、ソクラテス、キリストという世界の8聖人にちなんだ置き物があります。江戸時代から明治にかけての本牧、根岸の写真や、横浜市内で使われていた農具や漁具を中心に展示してあります。周りには自然がたくさんあり、季節の変化を近く感じられます。春には桜がきれいに咲き、秋には柿やはっさくの実がなります。木の実もたくさん拾えるので、工作の材料集めに行くこともあります。生き物もたくさん住んでいて、カナヘビやヤマカガシ、コオロギ、セミなどたくさんの生き物に出会えます。モグラの穴を見つけられることもあります。晴れた日には富士山がきれいに見える場所もあります。ゆっくり自然を味わうことができ、全体的にとっても静かな感じの公園です。



さんのたにきたこうえん  
③三之谷北公園

「ロケット公園」と呼ばれることもあります。大きなすべり台と小さなすべり台が左右についた遊具があります。階段からだけではなく、筒型のはしごのようになっているところからも上にのぼることができます。水飲み場があったり、木のそばにはベンチがあったりします。



さんのたにこうえん  
④三之谷公園

みんなからは、「ぞうさん公園」と呼ばれています。入口の大きな門や小さな門、すべり台など、色々なところがぞうの形をしています。とくに人気なのが、ぞうのすべり台です。鼻の部分がローラーすべり台になっていて、コロコロと音を立ててすべるのがとても面白いです。すべり台の他にも、わっかの形をしたうんていがあります。上にのぼれる遊具にハンドルがついていて、操縦しているような気分で遊ぶこともできます。



さんのたにみなみこうえん  
⑤三之谷南公園

きりんの形をしたブランコがあることから、「きりん公園」と呼ばれています。ブランコが1つとベンチがあるだけですが、きりんの形がとても印象的で、みんなに親しまれています。



ほんもくりんかいこうえん  
⑥本牧臨海公園 こどものあそびば

本牧市民公園の周りにある公園のことを「本牧臨海公園」と呼んでいて、そのうちの1つです。高風保育園の前にあり、汽車の形をした遊具や砂場があります。汽車はとてもカラフルで、保育園の園児たちも楽しく遊んでいます。





⑦多間院前公園

ルンビニ幼稚園の前の公園です。遊具は多くはありませんが、広くスペースがあるので、昼過ぎには、ルンビニ幼稚園の園児さんがたくさん遊んでいます。公園の中央には街灯も立っていて、暗くなってくると明かりがつかます。花壇には季節にあったきれいな花が咲きます。夏にはお祭りの会場になり、お神輿や屋台が並びます。



⑧本牧元町公園

公園のすぐ側に吾妻神社があることから、「神社公園」と呼ばれています。夜にはコウモリが飛んでいることもあるようです。色々な高さの鉄棒があり、いろいろな年齢の子どもが遊べるように工夫されています。周りの公園にはないシーソーがあります。



⑨本牧元町東公園

学校を出てすぐのところに公園です。広場の形が三角形なので「三角公園」と呼ばれています。広場が大きくとってあるので、大勢の子どもが楽しく遊んでいます。学校が終わると三角公園で待ち合わせをしたり、遊んだりする南小のお友達がたくさんいます。



⑩本牧元町南公園

小学生より小さいお友達が遊べるような公園です。すべり台もゆるやかで、高さもあまり高くありません。危なくないようにすべり台の周りにロープがはってあります。



⑪本牧ひろば公園 多目的広場

本牧車庫のそばにある公園で多目的広場として使われます。使う前の月に申し込みをし、使用承諾をとります。ベンチやネットなどがあり、少年野球やサッカー、ソフトボール、ゲートボールなど、主に団体に球技をするのに使われています。



ほんもく みせ  
**本牧にはお店がいっぱい!**

⑫スーパーマーケット

スーパーマーケットは、食料品、生活用品、洋服など様々なものがたくさんそろえてあります。お客さんがより買い物しやすいように、売り場の商品や価格を見やすいように並べています。食料品などは、そのスーパーマーケットオリジナルの商品を出しているお店も多くなりました。

最近では、お金を持ち歩かなくても買い物ができるように電子マネーを導入したり、いつでも買い物ができるようにインターネットからの注文を受け付けたりしています。このように、いろいろなお客さんの生活に合わせて様々な工夫をしています。

そして、特に力を入れているのは、従業員の中に「サービス介助士」という資格をもった人を増やし、高齢者や体の不自由なお客さんにも安心して買い物ができるよう、車いすの補助などを行っています。

そのほかにも、お客さんの感想や要望を聞くコーナーをつくり、お客さんにより気持ちよく買い物してもらえるような工夫もしています。



### ⑬ 小売店

八百屋、魚屋、パン屋などのお店を小売店といいます。小売店は、お客さんの好みに合わせてたくさんの種類の商品をおいています。小売店では、それぞれのお店においてある商品に合わせて、様々な販売の工夫をしています。

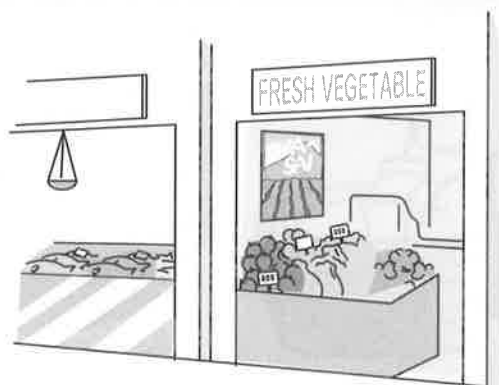


### ⑭ コンビニエンスストア

コンビニエンスストアは、身近な所にあり、ふだんの生活に必要なものがほとんどそろっています。昼間に買い物ができない人でも、24時間開いているのでいつでも利用することができます、とても便利です。

また、宅配サービスや銀行のATMの機械などもあります。そのほかにも、チケットの購入をすることもできます。

レジでは、商品のバーコードを読み込むと、「いつ、何が、どれだけ売れた」のかが、コンピュータに記録されるようになっていきます。そのため、売り切れや、売れ残りを少なくすることができます。



## みんなが使える、みんなでする公共施設

### ⑮ 中図書館

本牧原、仲よし公園のところにあります。

入り口を入ると、1階にはカウンターと児童図書室があります。本を借りたり返したり、予約したりするときには、カウンターで手続きをします。

「図書館カード」を作れば、すべての横浜市立図書館で本を借りることができます。

新しく入ってきた本を紹介するコーナーや、ゆっくりと本を読むことのできるスペースもあります。

階段を上ると、2階は成人図書室になっています。

目の不自由な人のために、対面朗読室や拡大読書鏡などがあります。

会議室などもあります。



### ⑯ 本牧地区センター

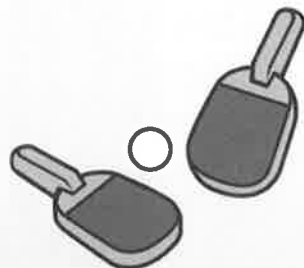
中図書館と同じ建物の中にあります。

1階には体育室や料理室、2階には音楽室や会議室など、さまざまな部屋があります。

さまざまなサークル活動、研修会、集会、スポーツなどの活動に使われています。

「仲間づくり」や「ふれあい」の場として、子どもからお年寄りまで、大勢の人たちに利用されています。

利用するときには受付が必要です。利用する部屋によって、受付のしかたが違います。利用料金が必要な場合もあります。センターに問い合わせしてから、利用するとよいですね。



### ⑰ 山手警察署

わたしたちが安心して、安全な暮らしができるように、大勢の警察官が仕事をしています。

110番通報された事件や事故を調べて解決します。事件や事故に関わる人にお話をきくこともあります。

でも、それだけではありません。ふだんから、地域をパトロールしたり、人々に呼びかけたりして、事件や事故が起こらないように、努力しています。

交差点で交通整理をしている警察官の姿を見かけることがありますね。落とし物を交番や警察署に届けに行ったことはありませんか。

このように身近なことでも、警察とかかわりがあるのです。



### ⑱ 本牧和田消防出張所

中消防署の出張所で、本牧和田にあります。16人の消防士がいて、昼も夜も休みなく、交代で仕事をしています。119番通報があると、指令を受けて火事や救急の現場に出動します。

火事が起こったときに消火することや、けがや病気の人を病院に運ぶ以外にも、わたしたちのくらしの安全を守る仕事をしています。

防火を呼びかけたり、学校の避難訓練に来て、火事や地震のこわさや、起こったときの対応の仕方を教えてくれたりします。

ここには、工場の火災に対応できる大型の化学消防車もあります。出動がないときにはさまざまな訓練をして、いざというときに備えています。



## わたしたちの生活を支えている場所

### ⑱ 本牧車庫

本牧南小学校の隣には、本牧車庫があります。横浜市営のバスがたくさん駐車してあります。本牧車庫のバス停からは、みなとみらい方面に行く8系統、26系統のバスや、横浜駅方面に行く105系統のバス、保土ヶ谷方面に行く106系統のバス、根岸駅方面に行く54系統のバスなどたくさんの路線のバスが出ています。本牧の地域に住む人にとって、欠かせない存在になっています。

横浜市営バスには、いろいろなバスの種類があり、大型のバス、中型のバス、横浜を観光するために作られた、観光用のバスなどがあります。そして、高齢者のための優先席が設置されていたり、車いすを固定するための座席が設置されていたりと、バスに乗る人のことを考えた工夫がされています。

本牧車庫には、3年生の「まちたんけん」で行くことがあり、本牧営業所で働いている方からバスについての話を聞いています。



### ⑳ 南本牧廃棄物最終処分場

わたしたちが普段生活していく上で、必ずごみができますが、そのごみは最終的にはどうなるのでしょうか。その答えのヒントが南本牧廃棄物最終処分場に隠されています。

南本牧廃棄物最終処分場は南本牧4丁目にあり、横浜市内から出てくる、一般廃棄物及び産業廃棄物の受入検査、埋立などを行っています。

南本牧廃棄物最終処分場では、まず検査台で、搬入物の検査及び管理型廃棄物のサンプル採取をします。次にトラックスケールで重さを量ります。そして最後に、浮棧橋または陸上からごみを投入（埋立）します。

環境を守っていくための工夫がされていて、ゴミを運んでいる途中や埋立作業中に灰が飛ばないように、焼却工場の中で、焼却灰は水に湿らせた後に、集じん灰はセメントで固められた後に処分地に運んでいます。埋立地から水が出ないように護岸で囲み、処分場内で余った水については、排水処理施設により処理・浄化し、周辺環境に影響を与えないようにした後、場外に排出します。搬入路や処分地場の塵防止のため、散水車による散水を行っています。そして洗車場を設けるなど環境を守るため、あらゆる角度から細心の注意を払っています。

南本牧廃棄物最終処分場の第二ブロックでは、平成25年頃まで、廃棄物の埋立ができる予定となっています。平成26年以降は、横浜に住む人が快適に暮らしていけるよう、第五ブロック内に新しい処分場を整備していく予定となっています。

みなみほんもくはいきぶつさいしゅうしょぶんじょう  
**南本牧廃棄物最終処分場の写真**  
 しゃしん



ひろく見える処分場も、ゴミを多く出せば、あっという間にいっぱいになってしまいます。  
 みんなでゴミをへらすことを心がけて、長く処分場を使えるようにしましょう。

かんきょうを守るため、様々な調査を行いながら、廃棄物を安全に処理しています。



じえいえくすにっこうにせき  
**② J X 日鉱日石エネルギー根岸製油所**  
 ねざしせいゆじょ

ほんもくみなみしょうがっこうの本牧南小学校のそばにある、産業道路から根岸方面に歩いて行くと根岸製油所が見えてきます。とても大きな製油所で、日本で最大級のおおきさです。

根岸製油所では、様々な製品が作られています。燃料油を作ったり、発電を行ったりしています。みなさんが着ている服の原料になるナフサや車を動かすときに必要になるガソリンが作られているのです。

また製品が高品質で安全なものになるよう、たくさんの検査を行っています。

製油所内では、安全や環境を守るための対策が行われています。製油所の中にはたくさんの消防車があります。施設から出てくる煙にも対策がされていて、人の体に影響が少ない煙が出るようにする装置があります。



いま むかし うみ  
**今も昔も海のまち**

「♪ここにはむかし～海があり～♪」と校歌の歌詞にあるように、本牧南小学校のある場所はかつて海でした。八聖殿の崖には白い波が打ち寄せていました。八王子の護岸があるあたりは八王子海岸があり、八王子川という川が流れ込んでいました。今ではその八王子川は、本牧元町の細い路地としてくねくねと続いています。

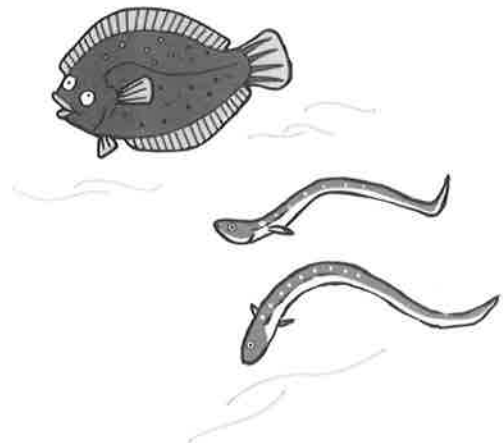
海が埋め立てられる以前の本牧では、たくさんの人たちが漁業やのり作りをしながら生活していました。海岸は埋め立てられ、日本でいちばん大きな港のあるまちとなった本牧ですが、今も昔も海と関わりをもったまちといえるでしょう。ここでは、海と本牧のまちとの関わりについて紹介していきます。

ほんもくぎょこう  
**② 本牧漁港**

本牧ポートハイツより、さらに海の方面に進むと、本牧漁港が見えてきます。本牧南小学校の近くには、漁港もあるのです。本牧地区の埋立が行われる前から漁業が行われているのです。

本牧漁港では、主に底びきあみ漁を行っています。アナゴやカレイ、スズキ、ナマコなどの様々な種類の魚介類が水揚げされています。本牧のまちには、漁師の方もいて、海と本牧のまちは、とてもつながりがあることがわかります。本牧の漁業は、こうして絶えることなく続けられています。

3年生の「まちたんけん」で行くことができ、漁師の方から魚のとり方や漁師の仕事にはどのようなものがあるかなど、話を聞いています。





### ②③のり作り

今から50年ほど前、本牧のまちではのり作りがさかんに行われていました。のりとり舟をあやつり、潮がひくころには海中につかりながらのりをとります。本牧の海岸で12月から4月中旬までの間によく見られる光景でした。昭和40年代になると、本牧の岬のまわりの海面は埋立が進められ、昔の海岸線はすべてなくなってしまいました。埋立地には、根岸製油所、日産自動車、三菱重工など大きな工場が建ち並ぶようになりました。埋立が行われることによって、漁業のまちから工業のまちへと変化をとげていったのです。



現在、昔盛んに行われていたのり作りを3年生の総合的な学習で学ぶ機会があります。

### ②④南本牧ふとう

外国から来る貨物の増加やコンテナ船の大型化に対応することを目的とした場所で、平成13年から運用が始まった、横浜港で一番新しいふとうです。

国内最大級の大きさで、超大型のコンテナ船にも対応しています。コンテナで運ばれてくるものには、フルーツや冷凍食品、衣料、機械など様々な種類の製品があります。

南本牧ふとうでは、たくさんの貨物を受け入れることができるようたくさんの工夫が見られます。ふとうが24時間稼働できるようなシステムが整備されていたり、貨物がふとうに来てから、すぐ運べるようなシステムをとっていたりします。

みなさんが着ている服や食品の中にも南本牧から来たものがあるかもしれませんね。



## ここには昔、海がありました

「本牧」という名前が初めて歴史の舞台に出るのは16世紀。その頃は『本目村』とありました。

戦国時代から江戸時代にかけて、本牧はちょうど本牧十二天社（今のマリンハイツがある辺り）から、八聖殿のある本牧鼻までがとても良い漁場になっており、村の人たちは漁業で生計を立てていました。江戸幕府が代官をおかず、直接支配地となっていたことから、この本牧が大切な場所であったことがわかります。また、本牧の村には大勢の人たちが住み、その賑わいは東海道の宿場がある保土ヶ谷と同じほどであったと当時の記録にあります。

江戸時代の大変有名な画家、歌川広重も、本牧の海を描いています。



明治時代に入ると、石川町と山手をつなぐトンネルができたこともあり、本牧は『横浜のリゾート地』として、海水浴と森林浴に来る観光客で大変賑わいました。三溪園を造った原三溪、八聖殿を造った安達謙蔵などの大富豪も、この本牧の地を気に入り住んだそうです。



※ 八聖殿下の海岸、ちょうど三角公園あたり

このように、「ここには昔、海がありました」で始まる校歌通り、本牧南小学校がある場所は、今から40年前までは海でした。

八王子海岸と呼ばれたその海岸は、「金屏風白州の荘」と呼ばれるほど美しい場所で、夏には多くの海水浴客、観光客が集まる場所でした。

砂浜では、アサリ、アオヤギ、ハマグリなどが採れ、沖では、アナゴ、カレイ、コチ、キスなどの魚も多く採れるなど、大変良い漁場となっていました。今では想像もできませんが、カニやシャコ、クルマエビなども、打瀬網と呼ばれる特別な網を使った漁の方法でたくさん採ることができたそうです。



昭和13年には、横浜や生麦、子安などの大きな港町を大きく引きはなし、本牧が漁獲高、漁獲量とも横浜の1位となっていることから、その栄えている様子がわかります。

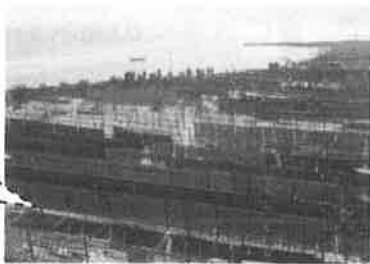
また、明治時代から本牧八王子の海岸では、「のりひび」がたくさんあり、のりとり舟をあやつってのりをとっていました。本牧ののりは、他ののりの養殖場と違い、ケヤキの木を使ったひびを用いていたため、とても良質なのりができ、大変好まれたそうです。

今でも、昔の写真（60～70年前）を見ると、現在は産業道路が走っている場所



やおとりちゅうがっこうの東側は大きな砂浜で、そこにのりを干している様子や、浅瀬にたくさんのにりひびが作られている様子がわかります。航空写真からも、のりの養殖場がわかるほど大規模なものでした。

八王子海岸はのり干し場で埋め尽くされていました。



大鳥中前ものり干し場や舟がありました。

当時流行った船頭歌に「♪色は黒くも本牧のりは 白いご飯と抱き寝する わたしや本牧荒波育ち 波も荒いが気も荒い」という歌があることから、本牧ののりがとても有名だったことがわかります。

昭和30年代から、横浜の工業地帯化工事が始まり、人口の増加と工場用地の不足から、海が埋め立てられることになり、どんどんと開発は進められました。



すると、工場から出る排水や、船の廃油などで海が汚れ、のりが全滅したり、質が悪くなったりしていきました。このころ、本牧・根岸地区の埋立も行われました。漁業で生活をしている人たちが反対をしましたが、その願いはかなわず、八王子の砂浜は全て埋め立てられてしまいました。今では、写真のように立派だった八王子の護岸跡が

少し残るだけです。

八王子の護岸、今の元町橋手前



今では、新しく大きな工場が建ったり、南本牧ふ頭では世界最大級のコンテナ船が入ったりして、新しい役割が求められている本牧の海。昔の風景が失われてしまったのは残念なことです。本牧漁港を中心に、まだまだ漁業に携わる人がいたり、私たちにのり作りのことを教えてくれたりする方はたくさんいらっしゃいます。自分たちのまちの歴史や役割を知り、これらを大事にすることが、本牧南小学校で過ごす私たちにあって、一番大切なことなのかもしれません。



昔本牧でのりを作り、今も本牧漁港で働く、鈴木達治さんのお話

昭和11年に生まれて、14才で舟に乗ったよ。当時本牧で漁業をしていた人は、1,000人くらいいて、のり作りがとても盛んだったんだ。本牧の海は、遠浅の海なので、潮がひくと1kmくらい砂浜が出てきた。歩いてると、カニによく足をはさまれたもんだ。

埋立には反対だったんだけど、横浜に大きな船がたくさん来るようになって、船の油やごみで海がダメになってきちゃったから、のりもあまり売り物にならなくて、仕方なく埋立には従ったんだよ。

転職することもできたけど、漁師は陸じゃなんにもできないからな。本牧の港に戻ってきたんだ。埋立中も漁はできたから、芝エビをとって暮らしていたよ。

のりはできるものならやりたいなあ。けど、許可がおりないし、準備のためにやたらお金がかかっちゃうし、もうできないのが現実だ。今も漁業はしているけど、やっぱり海をいじくっちゃダメだ。今いじくと、10年後にかえってくる。機械が良くなって、乱獲されれば、海が荒れてしまう。海をいじらずに、漁業がこれからもできるようにするには、自分たちの努力も必要なんだ、と考えているよ。

平成22年度

教職員名簿

学 校 長	野 口 容 子			
副 校 長	大木田 洋			
主 幹 教 諭	森 洋 子	鈴 木 久美子		
教 諭	片 桐 恵 子	泉 貴美子	菊 本 智 子	
	小 屋 芳 美	松 永 英 克	岡 田 真由子	
	小 池 悠 悠	井 上 麻衣子	杉 本 敬 之	
	齋 藤 宏 美	宮 崎 寛 子	上 田 貴 清	
	谷 口 利 沙	児 山 徳 幸	田 中 礼 子	
	曲 尾 達 希	中 島 瑠 美	井 坂 みち子	
	千 川 順 司			
図工・家庭科講師	林 靖 子			
外国語講師	ロウエナ・マツイ			
国際理解講師	ヒダカ・ヴィヴィエン			
特別支援教育講師	齋 藤 俊 之			
初任研講師	亀 山 いずみ			
栄 養 主 査	張 本 愛 倫			
事 務 主 事	増 田 靖			
技 術 吏 員	古 谷 俊 雄	立 石 七三枝		

# あ と が き

前回の記念誌発行より10年がたちました。その間に学校の中も周りの様子も、そして教育そのものも大きく変わりました。

校舎の横には高速道路が走り、さらに南本牧ふ頭から直接高速に入る道路も計画されています。校内にはガスによる冷暖房設備が取り付けられました。記録的な猛暑の中でも、子どもたちは安心して学習することができました。

教育の面では、ゆとり教育が見直され、新しい内容が学年ごとに加えられ、時間数が増えました。また、新たに外国語活動が全学年で実施されるようになりました。

このような大きな変化の中にあっても、本校の子どもたちは素直な心と落ち着いた態度で学校生活を送っています。これは保護者の皆様と地域の方々の支えがあるからです。これからも本牧南小学校を温かく、そして末永く見守ってください。

今回の記念誌は子どもたちにとって、すばらしい贈り物になることでしょう。

ご協力いただいた皆様に感謝いたします。

副校長 大木田 洋

表紙写真撮影：国際総合企画横浜 表紙題字：学校長 野口容子





横浜市立本牧南小学校  
創立40周年記念誌

